

第15回理事会

日 時 平成29年3月25日（土）午前10時
会 場 千葉県総合スポーツセンター宿泊研修所第3会議室
出席状況 出席 22名 欠席 8名 計 22／30

報告事項

- (1) 関東陸上競技協会理事会について
- (2) 千葉県体育協会理事会について
- (3) 男女都道府県駅伝大会について
- (4) 各専門委員会より
- (5) その他

議事内容

- (1) 平成29年度行事予定（案）について
- (2) 平成29年度競技会要項（案）について
- (3) 平成29年度予算案について

1 開会 午前10時

2 定数確認（高木専務理事）

定数30 出席 22名 欠席 8名 計 22／30

定款第37条により、本理事会は成立する。

3 副会長挨拶（藤原副会長）

（要旨）大岩会長、所用にて本日は欠席である。本年度最後の理事会にお忙しいところ出席いただき感謝する。本日の会議は平成29年度事業計画等重要な議題を扱う。慎重な審議を求める。

4 議長選出

高木専務理事から説明があった。

- ・議長選出については定款第36条により、「代表理事又は業務執行理事があたる。」とある。業務執行理事である藤原副会長に議長をお願いする。

5 議事録署名人

藤原業務執行理事から説明があった。

- ・定款第41条により、「代表理事及び監事が記名押印する。」とある。よろしくお願いいたします。

6 報告事項

報告事項（1）関東陸上競技協会理事会について

議長から、報告事項（1）について、木内常務理事に説明するよう指示があった。

（木内常務理事）

- ・1月5日（木）日本陸連事務局で開催された。中曽根会長の挨拶後、大会報告、陸連理事及び栄章者選出等の協議が進められた。詳細については回覧資料を参照されたい。
- ・秩父宮章は千葉県から推薦することができる。功労賞は関東陸協から栃木陸協所属小堀信夫氏の推薦が決まった。
- ・平成29年度関東陸協主催行事は配布資料のとおりである。関東選手権大会の大会役員構成を載せる規約を、関東陸協から千葉県で規約を改める依頼を受け、規約が整理されたので各県に回覧をする。
- ・日本陸連との加盟団体と連絡協議会で情報交換がされた。また日本陸連より中長期ビジョンの説明がされた。詳細については回覧資料を参照されたい。

報告事項（2）千葉県体育協会理事会について

議長から、報告事項（2）について、高木専務理事に説明するよう指示があった。

（高木専務理事）

- ・3月14日（火）スポーツ科学センターで開催された。大野理事長から挨拶があった。議事については回覧資料を参照されたい。
- ・千葉県綱引連盟が脱退をする。
- ・審議事項については、平成29年度事業計画（案）、平成29年度収支予算（案）、については資料参照願いたい。
- ・平成28年度臨時評議員会を開催するにあたり、次回理事会の項目に取り上げて開催となる。
- ・報告事項については、加盟団体規定の一部改定について、平成28年度行事報告予算執行状況、第72回国民体育大会冬季大会国体結果、平成28年度スポーツ振興事業賛助金状況、平成28年度体育功労者等顕彰、平成28年度後援行事の追加について、スポーツ少年団専門委員会等、その他として監査実施状況であった。
- ・千葉県体育協会70周年を迎えるにあたり記念事業準備委員会を設立する。

報告事項（3）男女都道府県対抗駅伝大会について

議長から、報告事項（３）について、滝田駅伝部長に説明するよう指示があった。

（滝田駅伝部長）

- ・男子については、９位という結果である。
- ・女子については、前日からの悪天候（雪）により開始時刻が変更となる。悪コンディションの中、第３位という好成績を残すことができた。今後、男子では１３km、女子では１０km というアンカー区間がポイントとなる。実業団と連携を図りながら優勝を目指して取り組んでいく。

報告事項（４）専門委員会より

議長から各専門委員長等に指示があり、委員会ごとに各委員長が説明した。

総務委員会（市東委員長）

- ・第９号千葉陸協だよりを発行。千葉陸上競技協会ホームページからも閲覧ができる。
- ・関東陸上競技協会感謝状と千葉陸上競技協会功労章の候補者推薦について、各登録団体に活躍されている方を候補者推薦として４月７日（金）までに提出を願いたい。
- ・平成２８年度に満６５歳を迎える審判員を対象に、千葉陸協より感謝状を差し上げる。登録団体に対象の方がいる場合、４月２日（日）審判講習会に参加するよう連絡をしていただきたい。

競技運営委員会（立澤委員長）

平成２８年度各競技運営にご協力を頂きありがとうございました。

- ・２月２６日（日）新Ｂ級審判員審講習会を実施し６１名が参加した。県記録会で２回の訓練会を実施し、平成２９年４月１日付けでＢ級審判員資格を得る。
- ・４月２日（日）２０１７審判講習会を千葉県体育館で開催します。前回理事会で推薦されたＳ級４名が承認され伝達式を行う。

強化委員会（伊東委員長）

- ・平成２９年度特別強化指定選手一覧について、東京オリンピックに向けての県強化事業である。昨年までは基礎強化と特別強化の二本立てとなっていたが、平成２９年度より特別強化の一本化となる。特別強化指定選手は・戸邊直人（安藤スポーツ・食文化振興財団）・毛呂泰紘（未定）・石田裕介（早稲田大学）・鷲見梓沙（ユニバーサルエンターメント）・村上夏美（成田高校）・秦野南美（山梨学院大学）・上田未奈（城西大学）・川上拓也（中央大学）・加世田梨花（名城大学）以上９名。

施設用器具委員会（松本委員長）

- ・今年度は関東選手権大会、ちばアクアラインマラソン２０１６そして県民マラソン大会と無事に終了することが出来た。
- ・競技場の検定など問題なく行われている。
- ・大会等での不備はその都度競技場管理者に要望し、対応していただいている。

高体連（木内委員長）

- ・平成29年度関東高校陸上競技大会が千葉で開催される。
- ・今年度で高体連委員長を退く。

小中体連（舟橋委員長）

- ・3月に行われた強化練習会において、中学1年生女子選手が怪我をする事故が起こる。
 今後は大会・練習会において事故防止に努める。
- ・平成29年度12月、中学校関東合宿が千葉で開催される。

マスターズ（柳田理事）

- ・大会運営にご協力いただきありがとうございました。世界記録や日本記録がでる好結果であった。世界記録については、公認申請期日までに申請が遅れ認められなかった。

議長からここまでの報告について質問、意見が求められた。

（高木専務理事）

- ・事故に関連することだが、日本陸連から大会・合宿において事故が起こらないように運営する趣旨の通達がきている。

（舟橋小中体連委員長）

- ・2月に行われた全日本中学校クロスカントリー大会で登録選手以外の選手が出場した。
 日本陸連並びに関係者に謝罪文を提出する。今後、このような事が起こらないよう注意・指導をしていく。

（高木専務理事）

- ・今の件だが、該当の中学校校長及び顧問に確認した。大会参加規程の解釈を勘違いし、意図的な操作ではなかったということである。

（藤原副会長）

- ・小中体連・高体連ともに参加規程について、顧問への指導をお願いする。

7 議事

議案（1）平成29年度行事予定（案）について

議長から、議案（1）について、市東総務委員長に説明するよう指示があった。

（市東総務委員長）

資料参照願いたい。前回の決定事項以外について説明する。

- ・10月14日（土）ちばキッズ陸上競技大会、並びに全国小学生クロスカントリー予選会、10月15日（日）千葉県陸上競技秋季記録会を開催する。
- ・12月26日（火）～28日（木）JAAF・U16 関東合宿が千葉県総合スポーツセンターで開催する。
- ・2月4日（日）第3回全国中学生クロスカントリー選手権、並びに県クロスカントリー大会を開催する。当初は18日（日）であったが日本陸連との調整で変更となる。
- ・4月2日（日）に行う千葉陸上競技協会審判講習会の会場について、前回理事会で会

場と運営の在り方について検討するよう受けていたが、調整した結果、今回は千葉県総合スポーツセンター体育館で例年通り開催をする。次年度に向けては早めに検討する。

- ・ 2月14日（土）日本選手権クロスカントリー、並びに U20 日本選手権クロスカントリーを開催する。

議長から質問及び意見が求められる。

（伊東強化委員長）

- ・ 8月22日からの国体強化合宿、山梨県にある北麓陸上競技場に訂正をする。

（奥田理事）

- ・ 次年度に向けて審判講習会の会場、そして審判意識の向上を図る講習内容の検討を願いたい。

議長から他に質問及び意見が求められたが、特になかった。

異議なく提案のとおり承認された。

議案（2）平成29年度競技会要項（案）について

議長から、議案（2）について、立澤競技運営委員長に説明するよう指示があった。

（立澤競技運営委員長）

- ・ 第51回千葉県記録会については前回の理事会で承認されている。
- ・ 第37回千葉県高校陸上競技記録会国体第3次選考会は、前回は高体連の関係で種目決定がされてなかったが、国体種目をすべて含め決定する。
- ・ 第70回千葉県陸上競技選手権大会については要項のとおりである。
- ・ 第49回千葉県クラブ対抗陸上競技大会については要項のとおりである。
- ・ 第33回全国小学生陸上競技交流大会千葉県選考会については、今回すべて確定する。
- ・ 平成29年度千葉県民体育大会第2部第72回国民体育大会千葉県最終選考会については、要項のとおりである。表題に千葉県体育協会70周年記念を加えて記載する。同様に千葉県民体育大会にも記載する。
- ・ 第33回東日本女子駅伝千葉県選手選考会、長距離記録会については例年どおりである。
- ・ 第12回ちばキッズ陸上競技大会については大会要項のとおりである。
- ・ 平成29年度全国小学生クロスカントリーリレー研修大会千葉県代表選考会についてちばキッズ陸上競技大会と同日開催である。競技開始は午後15時、園路周回コース。
- ・ 2017年千葉県陸上競技秋季記録会については、要項のとおりである。
- ・ 第2回U13、U16 Long-Distance Run については要項のとおりである。男女都道府県対抗駅伝の中学生の選考会を兼ねている。
- ・ 第36回女子第23回男子都道府県対抗駅伝選考会については大会要項のとおりである。

る。

- ・第56回千葉県クロスカントリー大会は、当初2月18日の予定が、2月4日（日）に変更となる。第3回全国中学生クロスカントリー選手権に合わせて開催する。
- ・国体最終選考会標準記録、千葉県選手権標準記録については強化委員会と確認済みである。最後に昨年度の千葉県選手権及び国体最終予選会の決勝記録一覧表を冊子に掲載した。
- ・別冊子で高体連、小中体連の大会要項を配布した。確認願いたい。

議長から陸協主催競技会要項について質問及び意見が求められたが、特になかった。
異議なく提案のとおり承認された。

議長から、加入団体主催の競技要項について、立澤競技運営委員長に説明するよう指示があった。

（立澤競技運営委員長）

2017年度記録公認大会コード申請一覧表を参照願いたい。

- ・平成29年度は加入団体主催の公認大会が56大会の申請がある。公認大会の要項については、3月18日（日）総務委員会、同記録情報部、競技委員会競技部、同審判部等で検討確認済みである。

議長より質問及び意見が求められた。

（舟橋小中体連委員長）

- ・地方で行われる競技会において、地方陸協が主催で入っているも、小中体連が主催に入ることはできない。要項が出た時点で確認し、地方陸協に指導をしていただきたい。

（立澤競技運営委員長）

- ・了解した。

（舟橋小中体連委員長）

- ・平成28年度の松戸市陸協主催記録会に、小中体連松戸支部が主催に入っているケースがあった。この時点で小中体連松戸支部に注意、指導はした。しかし平成29年度の要項に小中体連松戸支部が主催に入っている。それは認められるのか。

（岩脇記録情報部長）

- ・日本陸連としては、きちんと運営できる団体が主催に入っていれば、問題はない。

（木内高体連委員長）

- ・高体連規約には主催できない大会がある。同様に中体連規約にも主催できない大会がある。

（藤原副会長）

- ・各地方の陸協は、小中体連規約・高体連規約を確認し、主催できない大会がある事を共有する必要がある。その上で、千葉陸協は要項が出された時点できちんと審査する。

また、公認大会を受ける手続きのルールを守らせることを徹底する。今回出された松戸市陸協主催の No53 の記録会に関しては、再度要項を提出させ、次回理事会で諮る。よって 55 の競技会に対し公認大会として認める。

(木内高体連委員長)

高体連の大会要項を参照願いたい

- ・高校総体並びに高校総体予選会、新人大会並びに新人大会予選会、高校駅伝の要項である。
- ・6月に行われる関東大会の要項は、高体連陸上競技専門部役員改選の関係で次回理事会に要項を提出する。

(市東総務委員長)

- ・8月に行われる関東甲信越国公立大学陸上競技大会の要項については、各大学の承認を受けてから要項が出される。

議長から加入団体主催の競技要項について、他に質問及び意見が求められたが、特になかった。

異議なく先に述べた 55 の競技会について承認された。

議案(3) 平成29年度予算(案)について

議長から、議案(3)について、中村事務局員に説明するよう指示があった。

(事務局 中村事務局員)

西脇財務部長病欠のため、代理で中村事務局員より説明をする。

- ・今理事会、平成28年度加入団体代表者会議、千葉陸協懇親会の通知に不手際がありご迷惑をおかけした。今後このようなことがないように気をつける。
- ・千葉陸上競技協会の財務は安定している。
- ・平成29年度は、ちばアクアラインマラソン大会の補助金と関東陸上競技選手権大会の事業収入がない分、減額となっている。

1 事業活動の部

(1)経常収益

- ・登録料収入 19,510,000 円 本年度は2000万円であり内輪に見積もった。
- ・補助金等収入 18,671,372 円 昨年度のアクアラインマラソン補助金 13,389,696 円 減額である。
- ・事業収入 8,750,000 円 昨年度の関東選手権大会補助金 7,600,000 円の減額である。
- ・その他の事業収入 3,980,000 円 例年どおりである。
- ・雑収入 500 円 本年度はこの金額を計上した。
- ・経常収益合計 51,401,872 円 前年度比 20,402,196 円の減である。

(2)経常費用

・事業費 41,986,618 円 約 2040 万円の減額で、ちばアクアラインマラソン約 1280 万円、関東選手権約 760 万円の 2 大会分が主なものである。

- ① 大会費 8,500,000 円 アクアラインマラソン、関東選手権の約 1820 万円の減額である。
- ② 派遣費 2,900,000 円 例年どおりである。
- ③ 強化費 26,951,068 円 前年より 150,000 円増額である。
- ④ 会議費 200,000 円 前年より 50,000 円減額である。
- ⑤ 旅費交通費 150,000 円 前年 50,000 円増額である。
- ⑥ 報償費 50,000 円 前年同様である。
- ⑦ 印刷費 100,000 円 前年同様である。
- ⑧ 表彰費 150,000 円 前年同様である。
- ⑨ 負担金 2,400,000 円 600,000 円の減である。関東選手権大会の千葉県負担金分の減額である。
- ⑩ 減価償却費 585,550 円 前年同様である。
- ⑪ 予備費 1,754,216 円 前年同様である。

・管理費 9,415,254 円 2,020 円増額である。国際千葉駅伝で負担できていた部分が同大会中止により増額分となっている。内訳は、まちづくり公社への支払、電話代、新聞代、コピー機のリース料やメンテナンス等である。法人化により事務局員の社会保険加入が義務付けられ、法定福利費 224,778 円である。

収支合計 51,401,872 円 前年より約 2000 万円減の予算額である。

議長から質問及び意見が求められたが、特になかった。

異議なく提案のとおり承認された。

8 その他

(1) 公認大会記録情報担当者研修会のお知らせについて（岩脇記録情報部長）

資料参照を願いたい。

・今後公認記録申請はデータ申請となる。その上で、現記録申請の書類不備を無くすためと今後のデータ申請に対応するための説明を兼ね、記録情報担当者研修会を実施する。

(藤原副会長)

・各登録団体の記録情報担当者は必ず研修会を受講するように指導していただきたい。

(中村事務局員)

・今回の研修会から公認申請をデータ申請に移行するのか。

(岩脇記録情報部長)

・今回は書類不備をなくす説明が主である。しかしデータ申請に関する説明を加え、できるだけ早くデータ申請ができるよう移行する。

(舟橋小中体連委員長)

- ・日本陸連のデータ化の意向があるなら、早急にデータ申請に移行すべきではないか。

(岩脇記録情報部長)

- ・各試合における記録情報のシステム上、すべての大会においてデータ申請をするのは無理がある。

(中村事務局員)

- ・いずれ日本陸連からデータ申請を求められるなら、早い段階で移行を求む。

(岩脇記録情報部長)

- ・現段階ですぐに移行することは難しいが、公認大会記録情報担当者研修会を通して、データ申請を普及していく。

議長から質問及び意見が求められたが、特になかった。

提案のとおり承認された。

(高木専務理事)

- ・平成29年1000kmマラソンを実施する。登録団体よりサポートランナーを紹介していただきたい。詳細については4月12日の会議で決まる。

藤原副会長から閉会が宣言された。

午前11時35分 閉会